



目指す児童像

- ・自分も他人も大切にできる子
- ・自ら考え、学び、実践できる子
- ・健康で、ねばり強い子

目指す学校像

- ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・児童の主体性と実践力を伸ばせる学校
- ・家庭や地域の思いを支えに、共に子どもたちの未来を築く学校

目指す教師像

- ・笑顔で明るく活力のある教職員
- ・協働一致して指導に当たる教職員
- ・専門職業人として学び続ける教職員

豊かな心を育みます！

体験活動や集団活動を通じた豊かな心の育成

- ◇学級活動や学校行事、たてわり活動等を通して、自分や友達の良いところ・ちがいに気づき、互いに認め合う心や自分で考えて行動する態度を育てます。
- ◇係や委員会活動等の児童主体の活動においてそれぞれの役割や責任を果たせるようにすることで、学級や集団の一員としての自覚を高めます。

子どもたちが中心となった「いじめ防止活動」

- ◇「東小いじめ防止宣言」に基づき、各クラスごとに自分たちで考えた宣言を採択するなど、自主的ないじめ防止活動を通して互いに支え合える人間関係を築けるようにします。
- ◇「SOSの出し方教育」や「人権週間」の取組を通して自分を大切にすることを育み、具体的な行動に結び付けられるようにします。

道徳・キャリア教育の充実

- ◇道徳の授業において「考える」「議論する」活動を取り入れ、道徳的な課題を自分自身のこととしてとらえられるようにします。
- ◇児童が自分の課題や状況に応じて立てた目標や計画を達成できるようきめ細かな支援や声かけを行い、成功体験を積み重ねられるようにします。

保護者・地域との連携

- ◇保護者や地域の方から「スクールサポーター」を募り、児童の学びの充実を図ります（クラブ活動、ミシン、昔遊び、その他活動の見守り等）。
- ◇「読み聞かせ」や「東小ミニコンサート」を実施し、児童の豊かな心を育みます。
- ◇地域の方々の協力による登校時のあいさつ運動や下校時の見守り活動を通して、児童の健全育成を図ります。

学校経営の基本方針

- 多面的・総合的な児童理解
- 自己肯定感の高まりにつながる支援
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- 「いじめ・交通事故・学校事故」の根絶
- 地域の教育資源の活用（ひと・もの・自然）

学力の向上を図ります！

主体的な学びに向けた授業づくり

- ◇全教員が「学習規律の徹底」「学習のめあての明確化」「考えさせる場面・対話する場面の設定」「振り返り」を意識した授業づくりを行い、児童の主体的な学びの充実を図ります。

意欲の向上と学習内容の確実な定着

- ◇高学年を中心に、教科担任制による授業を実施し、学習意欲の向上、学習内容の理解・定着を図ります（算数・理科・英語・音楽・体育・図工・家庭など）。

1人1台PCを活用した「新しい学び」の推進

- ◇授業や家庭学習において1人1台パソコンを効果的に活用し、興味・関心、習熟度に応じた学びを進めたり、互いの意見を交流させたりすることで、学びの質を高めます。

家庭学習の充実

- ◇学年ごとに「家庭学習のすすめ」を配付して、家庭学習への取組を促します。
- ◇学期ごとの漢字計算コンテストに合わせて「スタディウィーク」を実施し、ねばり強く計画的に学習を進める態度を育てます。

体力向上を図り、健康・安全への意識を高めます！

体力向上のための継続的な取組

- ◇遊びの中に運動を取り入れたり、業前運動や体育の授業においてサーキット運動を行ったりすることで基礎的な運動能力を高めます。
- ◇リズムなわ跳びや時間走を継続的に実施し、全身持久力の向上を図ります。

健康・安全に留意して生活する態度の育成

- ◇家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」「アウトメディア」「けがや病気の未然防止」等の取組を進めることで、安全で規則正しい生活習慣を身に付けます。
- ◇避難訓練（不審者・地震・火災）や交通安全教室等を通して、「自分の身は自分で守る」態度を養います。



「桐生を好きな子供」の育成

- ◇生活科や総合的な学習の時間等において、身近なまちや桐生の名物・施設・自然・環境等を題材として取り上げることで、ふるさと東地区・郷土桐生を愛する児童を育てます。